

No.231

2019年
9月号

さくら

図書館だより

(編集・発行)

宿毛市立坂本図書館

〒788-0001

宿毛市中央二丁目7番14号

☎ 0880-63-2654

FAX 0880-63-0155

展示のご案内

展示期間 9月26日(木)まで

★メイン展示

『〇〇の秋』

みなさんは、秋と言ったら何を思い浮かべますか。食欲、読書、スポーツ、芸術など、いろいろな「〇〇の秋」がありますね。図書館でも「〇〇の秋」と題して、

- ・敬老の日 読書のすすめ
- ・食欲の秋 美味しそうな本
- ・スポーツの秋 体を動かしたくなる本

という3つのコーナーを用意して、みなさまをお待ちしています。

ぜひお立ち寄りください。

★サブ展示

『だいすき！ おじいちゃん おばあちゃん』

9月16日の敬老の日になんで、おじいちゃんやおばあちゃんに関する絵本を集めてみました。おじいちゃん、おばあちゃんと一緒に読んでみませんか。



●サブ展示図書(抜粋)

- 「おじいちゃんがペンギんやったとき」
- 「おばあちゃんのおくりもの」・「よあけ」
- 「ふしぎなしっぽのねこカティンカ」
- 「いいからいいから」・「ぼくの草のなまえ」



●メイン展示図書(抜粋)

- 「ふたりからひとり」・「一切なりゆき」
- 「医者が考案した『長生きみそ汁』」
- 「知ってる？陸上競技」「老筋トレ」
- 「3日で25メートル泳げちゃう本」
- 「海苔と卵と朝めし」・「おいしいおとなあに？」
- 「めぐり逢いサンドイッチ」・「パンのずかん」

《中学生の職場体験学習》

宿毛中学校の生徒さんが職場体験学習に来てくれました。本の整理や貸出・返却作業などを2日間におわたって真面目に取り組んでくれました。



読んでみませんか？

-新着図書のご案内-

(一般)

老筋トレ

枝光聖人 監修
法研

昨今の“筋トレブーム”。ストイックなイメージから「体力のある若者がすること」と思っていませんか？しかし、筋トレは何歳からでも始められ、しっかりと効果を実感することができるのです。高齢者指導数日本一のパーソナルトレーナー監修の、毎日に起きる・立つ・座る・歩くなどの動作に「ついで」をプラスした気負わない“老筋トレ”。人生百年時代、いくつになっても元気に動ける体づくりを今から始めてみませんか？

(山口)

(児童)

うみへいったちいさなカニカニ

クリス・ホートン 作
BL出版

小さなカニカニは初めて海に行く日、「どンドン、すすむぞ!!」と元気いっぱいです。

でも、海に着くと小さなカニカニは海に入らない方がいいかも？と言いはじめました。

小さなカニカニは海を嫌いになってしまうのでしょうか？

カニカニたちの大冒険を描いた絵本となっています。

(岡村)

(一般)

灼熱

秋吉理香子 著
PHP研究所

夫が死亡し、その容疑者として浮上した男に近づくため、過去の自分を捨て別人になりすました咲花子。殺人の証拠を探し、犯人に復讐すべく結婚生活をスタートさせるが、真相は意外な方向へと導かれていく。

驚愕のラストとは…。予想もつかない緊張の展開と、復讐に身を焦がす咲花子のたどる、すれ違いが生んだあまりにも切ない真夏のミステリー。

(樫田)

(児童)

「お手伝いしましょうか？」 うれしかった、そのひとこと

高橋うらら 文
講談社

困っている人を助けてあげたい、そんなふうに考えている人は、たくさんいるのではないのでしょうか？

でも、どうすればいいのかわからないという人もいます。

この本は、「ボランティア」の一步を、だれでも踏み出すことができるような内容になっています。

ぜひ、子どもと一緒に読んで最初の一步を踏み出してみませんか？

(尾崎)

庭の訪問客 山下量子

ホー、ホー、ホオホオ、ホーホー。

小さい頃、早朝のラジオ体操と鳩の鳴き声は夏休みの風物詩であったが、今やわが家では毎朝の恒例となっている。

昨年、庭にある紅葉の木にキジバトの巣が見つかったのは、蒸し暑くなる前のことだった。紅葉を剪定したばかりに、あらわになった巣は、粗々しく枝木が集められただけで、その上には小さな卵が2つ。そして毎日、親鳩が温めに来ていた。

その日から巣を守るための私の格闘がはじまった。なぜなら我が家には、鳩の天敵である飼い猫がいるからだ。飼い猫の匂いで他の野良猫がやってくることもある。なのに、こともあろうか、その鳩の巣は、猫が簡単に行ける場所にあり、抱卵のため少々のことでは巣から逃げない親鳩は「襲ってくれ」と言わんばかりである。

そこで私は、100均にあるギザギザしたトゲの猫よけマットを紅葉の幹一面に貼り付けることにした。そうすれば、猫が木によじ登ることはないだろう。

そのかいあってか、卵は無事にヒナとなった。が次なる脅威がやってきた。台風である。

過保護かもしれないが、強風でヒナが飛ばされたり大雨で身体が冷えて死んでしまうかもしれない。そう思った私は、「ビーチパラソル対策」をすることにした。友人が快くビーチパラソルを貸してくれたので、2.5mほどの脚立にいろんな細工をして、パラソルを固定した。木の下側にはヒナが落ちてもし受け止められるようネットを張った。

そんなのすぐに強風で壊れると父は笑ったが、パラソルはどの台風でも飛ばず、時に雨よけとなり、時に日射よけとなり、その下で、2匹のヒナはすくすく成長し、やがて立派な成鳥になり飛んで行った。

都会ではフンや鳴き声、病原菌で害鳥扱いされている鳩だが、我が家からして見れば、庭の訪問客である。庭にいる限り、安全な環境を提供してあげたい。

そもそも山ではなく、民家で猫までいる危険なところに巣を作るのもなんらかの理由があるのだろう。山の中はさらに多くの天敵がいるのかもしれない。

それから一年。今年もまたその時の子どもか、同じ親鳩か、もしくは全く別の個体か分からないが、再度、うちの庭の違う紅葉に巣を作った。

幸い、猫が襲うには行きづらい場所にあり、無事にすくすくとヒナは育ち、やがて飛ぶように

なった矢先のこと。

いつもより親鳩の鳴く様子が違う、そう思って巣の様子を見にいくと、ヒナの羽根が四方八方に散らばっているではないか！

近くには猫の姿が。やられた！

焦った私は、猫を追い払い、散らばった羽根の主を探した。やがて梅の木に避難しているヒナを見つけた。

ああ、良かった。なんとか生きています。

通常、鳩は雄と雌が交互に子どもの世話をするという。庭ではよく親鳩がヒナに口移しで餌をやっていた。その餌はピジョンミルクと呼ばれるものらしく、雄、雌、両方があげられるのだという。それをヒナは親のクチバシに自分のクチバシをつっこみ食べる。

いつものように電線から庭木に親鳩が降りてきた。子どもに餌をあげようとする。子どももそれにこたえようとするが、立てずにひっくりかえり、木から落ちこちてしまった。様子を見てみると、猫の襲撃ゆえか、このヒナは立つことも飛ぶことも出来なくなっていた。

立てないとご飯が食べられないし、飛べないと猫にやられてしまう。その事態に気付いた私は、あわててヒナを拾いあげ、鳩のヒナの給餌を調べた。

通常、野鳥の飼育は禁じられている。しかし今回は、ケガのための「一時保護」であるとの判断で餌やり道具をそろえた。

人肌に温めた無調整豆乳に粉状の小鳥の餌をまぜたものをスポイトにし、抱きかかえたヒナに飲ませる。鳩のヒナのクチバシはなかなか開きずらく、コツがいったが、しばらくすると歩けるようにまで回復した。

しかし、まだ飛べない。飛べるようになるまでは、猫の餌食になりかねないので、引き続き世話をした。

やがてヒナは普通の鳥の餌の粒をつまめる様にまで成長した。もう鳩らしい姿である。そろそろ飛ぶ練習をさせよう、そう思ったある日。小鳩のいるケージを開けた。しばらくすると、小鳩はたどたどしい飛び方で、屋根の方まで飛んだ。

そしていなくなった…。

あつという間のことで、小鳩と違って心の準備がまだできていなかった私は驚いた。

ごはんは大丈夫かな。猫にやられないかな。雨は大丈夫かな。未だに私は、心配している。

小鳩よ。

どうか元気で。

また顔を見せに来ておくれ。

～新着図書のご紹介～

一般図書



- | | | |
|---|-------------------|----------|
| 0 | 「昔話とその周辺」 | 筒井悦子 |
| 1 | 「人生が変わる!『直感』の磨き方」 | ワタナベ薫 |
| 2 | 「マイ・ストーリー」 | ミシェル・オバマ |
| 3 | 「たった13字ですべてを伝える」 | 上岡正明 |
| 4 | 「超高齢社会のリアル」 | 鈴木隆雄 |
| 5 | 「時間の花束」 | 三浦百恵 |
| 6 | 「60歳からのひとり旅鉄道旅行術」 | 松本典久 |
| 7 | 「大家さんと僕 これから」 | 矢部太郎 |
| 9 | 「小説天気の子」 | 新海誠 |
| 9 | 「森瑤子の帽子」 | 島崎今日子 |
| 9 | 「82年生まれ、キム・ジョン」 | チョナムジュ |
| 9 | 「旅仕舞」 | 佐伯泰英 |
| 9 | 「氷獄」 | 海堂尊 |
| 9 | 「明日死んだ男」 | 赤川次郎 |
| 9 | 「君が異端だった頃」 | 島田雅彦 |
| 9 | 「格闘」 | 高樹のぶ子 |
| 9 | 「老父よ、帰れ」 | 久坂部羊 |
| 9 | 「罪の轍」 | 奥田英朗 |
| 9 | 「落花狼藉」 | 朝井まかて |
| 9 | 「のっけから失礼します」 | 三浦しをん |
| 9 | 「わたしのいるところ」 | ジュンパ・ラヒリ |
| 9 | 「灼熱」 | 秋吉理香子 |
| 9 | 「人生の終わり方も自分流」 | 曾野綾子 |
| 9 | 「伊勢佐木町探偵ブルース」 | 東川篤哉 |
| 9 | 「森があふれる」 | 彩瀬まる |
| 9 | 「20 CONTACTS」 | 原田マハ |

※左側の数字は図書の分類を表しています。
 0...総記、1...哲学、2...歴史、3...社会科学、4...自然科学
 5...技術、6...産業、7...芸術、8...言語、9...文学

児童図書



- | | |
|-----------------------------|----------|
| 「『お手伝いしましょうか?』うれしかった、そのひとこと | 高橋うらら |
| 「3日で25メートル泳げちゃう本」 | 加藤義範 |
| 「アッチとドッチのフルーツポンチ」 | 角野栄子 |
| 「未来を花束にして」 | 小林深雪 |
| 「親子で楽しむ和算の図鑑」 | 谷津綱一 |
| 「ネッシーはいることにする」 | 長藪安浩 |
| 「しゅくだいかけっこ」 | 福田岩緒 |
| 「エアコンのひみつ」 | 大富寺航 |
| 「貸出禁止の本をすくえ!」 | アラン・グラッツ |
| 「昔はおれと同じ年だった田中さんと友情」 | 椰月美智子 |
| 「放課後の文章教室」 | 小手鞠るい |

絵本



- | | |
|-----------------|--------|
| 「るすばんかいぎ」 | 浜田桂子 |
| 「ノンタンたいそう1・2・3」 | キヨノサチコ |
| 「ちいさなひこうきのたび」 | みねおみつ |
| 「まどのそと」 | 佐野史郎 |
| 「おかたづけバストリオ」 | 新井洋行 |
| 「ふみきりかんかんくん」 | 斉藤洋 |
| 「ギョギョギョつり」 | 矢野アケミ |
| 「ヒミツのかいだん」 | 田島征三 |
| 「丘のうえのいっぼんの木に」 | 今森光彦 |
| 「あやしいぶたのたね」 | 佐々木マキ |

★このほかにもたくさんの図書が入っております。
 図書館ホームページでは、月ごとの新着図書一覧を公開しておりますので、
 そちらもぜひご覧ください。

9月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

10月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

開館日時 火～金 10:00～18:30 土・日 10:00～18:00 は休館日
 ホームページ <http://www.city.sukumo.kochi.jp/sbc/library/index.html>
 メールアドレス tosyo@city.sukumo.lg.jp